

我が社の強み

会員企業ファイル^⑧

 SOLIZE PARTNERS

ソライズ パートナーズ

デジタルによるモノづくり ソリューションを提供



Global Engineering Center-
Yamato・大和工場

資本金 1,000万円 (SOLIZE Holdings100%)
従業員 約1,300人 (単体)
拠点 国内9、海外5
代表者 代表取締役社長 井上 雄介

本社

東京都千代田区三番町6-3
三番町UFビル3F

我が社の逸品



SOLIZE PARTNERSのデジタルものづくり



設計・解析・製造、三位一体のソリューションを提供できるのがSOLIZE PARTNERSの強み



3Dプリンターを活用したモノづくり



デジタル技術を活用した製品設計技術



AIを活用した制御技術



拡張現実(XR)を活用したデザインレビュー

3Dプリンティング活用の先駆け 設計から量販収益化までサポート

SOLIZE PARTNERSは、SOLIZEグループの中核を担うエンジニアリング・マニユファクチャリング事業会社として、設計から試作、量産立ち上げまでを一体で支える「実装力」を最大の強みとする。

3D CAD (コンピューター支援設計) やCAE (コンピューター支援工学) などのデジタル設計技術と、最先端の3Dプリンティングを組み合わせて、構想設計から製造までを高速に回す体制を構築してきた同社。3Dプリンティング活用の先駆けとしての知見を最大限発揮し、試作にとどまらず「少量量産」「補給部品」にまで踏み込み、自動車の量産品質にも対応している。

一般に3Dプリンターは開発・試作用途にとどまりがちだが、同社は金属・樹脂の積層造形を量産プロセスに組み込み、実用部品として供給できる体制を整えている。これにより、開発スピードと市場投入の早さを同時に実現する。

特に価値を発揮しているのが、EVや次世代モバイルティ分野だ。電池

周辺部材やモーター部品、冷却構造体などは、軽量化・放熱・強度といった複合要件を同時に満たす必要があり、従来工法では設計の自由度に限界があった。人工知能(AI)を活用したデジタル設計と積層造形を組み合わせて、内部流路を組み込んだ一体構造や、部品点数を減らした軽量設計が可能となり、性能と量産性の両立を実現している。

さらに、グローバル展開も進めている。日本を中核に、北米、インド、タイ、中国へと開発・サービス拠点を広げ、顧客のグローバル開発体制に寄り添う。自動車に加え、二輪、航空宇宙、重工業、電機、半導体といった分野へも横展開し、「産業」と「地域」の両面で事業領域を拡張している。

同社は、デジタル技術を単なる設計支援に終わらせず、実際の製品と収益につなげる「現場実装型DX(デジタルトランスフォーメーション)」の担い手である。設計起点で最適化されたデジタルモデルを、量産可能なモノとして世に送り出す―その実行力こそが同社の最大の競争優位だ。